

関係各位

(一社) 国際空手道連盟 極真会館 富山県 極真会館 小井道場  
大会実行委員長 小井 義和

＜第32回全日本少年少女空手道選手権大会・グランドチャンピオン決定戦 選考試合＞

## 第17回オープントーナメント北信越学生空手道選手権大会(組手)

＜第3回全日本極真「型」空手道選手権大会 選考試合＞

## 第21回オープントーナメント富山県空手道選手権大会(組手・型)

## 第2回 オープントーナメント富山県ハートポイント空手道選手権大会

### 大会要項

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

平素は当道場に対し格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、下記内容にて『第17回オープントーナメント北信越学生空手道選手権大会』及び『第21回オープントーナメント富山県空手道選手権大会』『第2回富山県ハートポイント空手道選手権大会』を開催する運びとなりました。

この大会は、直接打撃制組手試合の向上及び武道精神による人間形成を目的として開催いたします。

そして、北信越学生大会の組手試合は令和9年に開催の『第32回全日本少年少女空手道選手権大会(グランドチャンピオン決定戦)』の国内最初の選抜試合となっております。

また、富山県大会には全日本選抜試合の「型」カテゴリーを設け、空手界初の電子防具を使用する『第2回富山県ハートポイント空手道選手権大会』も開催します。ご理解いただき、何卒よろしくお願いいたします

### 記

＜日 時＞ 令和8年4月5日(日)  
開場・選手受付 9時15分～  
開 会 式 9時45分～

＜場 所＞ 富山県総合体育センター1F大アリーナ(富山空港横)  
〒939-8252 富山県富山市秋ヶ島183番地 Tel (076) 429-5455

＜試合カテゴリー＞組手57 型36 ハートポイント組手15カテゴリー(別紙参照)

＜試 合 方 法＞ 一般社団法人 国際空手道連盟 極真会館ルールに準ずる

＜出 場 料＞ 組手の部7,000円 / 型の部7,000円 / ハートポイント組手7,000円  
組手+型 12,000円 / 組手+ハートポイント組手12,000円  
型+ハートポイント組手12,000円 / 組手+型+ハートポイント組手15,000円  
※ダブルエントリーは12,000円 トリプルエントリーは15,000円です。

＜申込締 切＞ 令和8年2月26日(木) 必着で有効

※出場料は出場申込書同封の上、所属道場・流派・会派など各団体一括で現金書留にて下記住所まで郵送をお願いいたします。

＜送 付 先＞ 〒939-8075 富山県富山市今泉333  
極真会館 小井道場

TEL (076) 420-1031 / FAX (076) 420-1032 / Email: pmg@r7.dion.ne.jp

※申込後の出場料は原則、いかなる理由があろうと返金は致しません

※出場申込書不足の場合はお手数ですがコピーにて対応下さい

## ＜ 組手カテゴリー ＞

北信越学生大会カテゴリー No.1～32			30	高校女子重量の部	(53kg以上) 権利試合
1	幼年の部(男女混合)	(年長のみ可) 権利試合	31	高校2・3年男子軽量の部	(65kg未満) 権利試合
2	小学1年男子の部	権利試合	32	高校2・3年男子重量の部	(65kg以上) 権利試合
3	小学1年女子の部	権利試合			
4	小学2年男子の部	権利試合	富山県大会カテゴリー No.33～57		
5	小学2年女子の部	権利試合	33	(挑戦) 幼年の部(男女混合)	(年小～年長) 非権利試合
6	小学3年男子軽量の部	(30kg未満) 権利試合	34	(挑戦) 小学1年男子の部	非権利試合
7	小学3年男子重量の部	(30kg以上) 権利試合	35	(挑戦) 小学1年女子の部	非権利試合
8	小学3年女子の部	権利試合	36	(挑戦) 小学2年男子の部	非権利試合
9	小学4年男子軽量の部	(32kg未満) 権利試合	37	(挑戦) 小学2年女子の部	非権利試合
10	小学4年男子重量の部	(32kg以上) 権利試合	38	(挑戦) 小学3年男子の部	非権利試合
11	小学4年女子の部	権利試合	39	(挑戦) 小学3年女子の部	非権利試合
12	小学5年男子軽量の部	(35kg未満) 権利試合	40	(挑戦) 小学4年男子の部	非権利試合
13	小学5年男子重量の部	(35kg以上) 権利試合	41	(挑戦) 小学4年女子の部	非権利試合
14	小学5年女子の部	権利試合	42	(挑戦) 小学5年男子の部	非権利試合
15	小学6年男子軽量の部	(45kg未満) 権利試合	43	(挑戦) 小学5年女子の部	非権利試合
16	小学6年男子重量の部	(45kg以上) 権利試合	44	(挑戦) 小学6年男子の部	非権利試合
17	小学6年女子の部	権利試合	45	(挑戦) 小学6年女子の部	非権利試合
18	中学1年男子軽量の部	(50kg未満) 権利試合	46	(挑戦) 中学男子の部	非権利試合
19	中学1年男子重量の部	(50kg以上) 権利試合	47	(挑戦) 中学女子の部	非権利試合
20	中学1年女子の部	権利試合	48	一般女子初・中級の部	(白～黄帯)
21	中学2年男子軽量の部	(55kg未満) 権利試合	49	一般男子初・中級の部	(白～黄帯)
22	中学2年男子重量の部	(55kg以上) 権利試合	50	一般男子壮年の部A	(40歳～50歳未満)※帯色不問
23	中学2年女子の部	権利試合	51	一般男子壮年の部B	(50歳以上)※帯色不問
24	中学3年男子軽量の部	(55kg未満) 権利試合	52	一般女子壮年の部A	(35歳～45歳未満)※帯色不問
25	中学3年男子重量の部	(55kg以上) 権利試合	53	一般女子壮年の部B	(45歳以上)※帯色不問
26	中学3年女子の部	権利試合	54	一般女子上級軽量の部	(55kg未満) 高校2年生以上
27	高校1年男子軽量の部	(60kg未満) 権利試合	55	一般女子上級重量の部	(55kg以上) 高校2年生以上
28	高校1年男子重量の部	(60kg以上) 権利試合	56	一般男子上級軽量の部	(70kg未満) 高校2年生以上
29	高校女子軽量の部	(53kg未満) 権利試合	57	一般男子上級重量の部	(70kg以上) 高校2年生以上

## ＜ 型カテゴリー ＞

1	幼年(未就学児)	10	小学5年男子	19	一般女子	28	SONEN男子 H 70歳以上
2	小学1年男子	11	小学5年女子	20	SONEN男子 A 35～39歳	29	SONEN女子 A 35～39歳
3	小学1年女子	12	小学6年男子	21	SONEN男子 B 40～44歳	30	SONEN女子 B 40～44歳
4	小学2年男子	13	小学6年女子	22	SONEN男子 C 45～49歳	31	SONEN女子 C 45～49歳
5	小学2年女子	14	中学生男子	23	SONEN男子 D 50～54歳	32	SONEN女子 D 50～54歳
6	小学3年男子	15	中学生女子	24	SONEN男子 E 55～59歳	33	SONEN女子 E 55～59歳
7	小学3年女子	16	高校生男子	25	SONEN男子 F 60～64歳	34	SONEN女子 F 60～64歳
8	小学4年男子	17	高校生女子	26	SONEN男子 G 65～69歳	35	SONEN女子 G 65～69歳
9	小学4年女子	18	一般男子	27	SONEN男子 H 70歳以上	36	SONEN女子 H 70歳以上

## ＜ ハートポイント組手カテゴリー ＞

1	幼年の部	(男女混合)	9	小学4年女子の部	
2	小学1年男子の部		10	小学5年男子の部	
3	小学1年女子の部		11	小学5年女子の部	
4	小学2年男子の部		12	小学6年男子の部	
5	小学2年女子の部		13	小学6年女子の部	
6	小学3年男子の部		14	中学男子の部	
7	小学3年女子の部		15	中学女子の部	
8	小学4年男子の部				

### 【新ルール「ハートポイント制」について】

胸部（心臓部）を有効打突の対象とし、ポイントとする「ハートポイント制」を導入します。  
有効打突には、手技による正拳の直突き・下突き・かぎ突き等（肘・手刀は不可）を使用します。

#### ① 胸部（心臓部）の有効打突でポイントを獲得

- ・胸部（心臓部）への打撃を有効ポイントとし、攻撃を「避ける」「受ける」動作が増え、安全性を向上。
- ・有効ポイントが決まれば試合が一時停止し、連打を防止し、間合いを重視した攻防が生まれる。
- ・胸部を顔面のように扱うことで、より実戦的でダイナミックな動きが期待できる。

#### ② 安全性と明確な判定

- ・心臓や乳腺を保護するパッドを装着し、安全性を高める。
- ・審判判定の透明性を高めるため、電子防具（シグナルプロテクター）の導入。
- ・シグナルプロテクターは、有効打突が当たるとランプが点灯し打突を明確にする。
- ・シグナルプロテクターは、抵抗（学年別）を感知し軽い突きでの点灯はしません。
- ・体格差による相撲スタイルの軽減に繋がり、平等に競技できる環境を実現。
- ・接近戦を減らし、試合の決着時間を短縮し選手へのダメージを減らす。

### ※ 今回は、ルール A を採用【ルール A の詳細】

- ◆胸部（心臓部）への打突は「2ポイント＝技有り」とし、1ポイントのみは判定に無効。
- ◆2ポイント取得で「技有り」とし、4ポイントで「一本勝ち」とする。
- ◆ポイントの判定は、電子防具（シグナルプロテクター）での点灯を使用する。
- ◆胸部以外の有効判定は、現行の（一社）極真会館の組手ルールに則る。

「ハートポイント制」の導入は、フルコンタクト空手の安全性を高め、競技の魅力をさらに引き出す大きな一歩です。

このルール採用により、特に子供や女性、壮年者が安心して参加できる環境を整え、競技人口の増加や国際的な競争力の向上が期待できます。

さらに、空手界初の電子防具（シグナルプロテクター）の採用により、判定の透明性が高まり、観客にも納得してもらえる試合運営が可能になります。

決して、現状のルールを否定するものではなく、私たち（一社）極真会館は、この新ルールを通じて、空手界に新しい時代を築いてく所存です。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

※ 組手・型・ハートポイント組手の各クラスの参加人数が少ない場合は、関連クラス  
の統合もありますのでご了承の程よろしくお願いいたします。